

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名≪外国語(英語)≫

※詳細については、資料Ⅱ(英語-7～英語-17)を参照

発行者の略称	東書	書名	NEW HORIZON Elementary English Course My Picture Dictionary
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、単元の学習事項を聞き取る学習活動『Starting Out』から始まり、聞く活動を示した『Let's watch』などにつながる構成となっている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、複数の単元で学習したことを使って内容を整理しながら、自分の思いや考えを表現する学習活動が『Check your Steps』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学習を振り返り、自己評価する学習活動が『Over the Horizonのふり返り』などに設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、アイヌ文化についての説明を聞いて、もっと知りたいことなどを考える学習活動が『Over the horizon』に設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「国際化」について、世界の食文化について考える学習活動が『At a restaurant』に設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、地域の環境のためにできることを考え、発表する学習活動が『Save the animals.』に設定されている。</p>		
3 内容と構成	<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、グループで話し合いながら、思考ツールを用いて自分の伝えたい内容を整理するなどの学習活動が『Check Your Steps』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、社会科などと関連して、都道府県や日本の魅力を伝える学習活動が『Welcome to Japan!』に設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、英語の文を声に出して読むなどの学習活動が『Sounds and Letters』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、日本の魅力について、内容を整理して発表する学習活動が『Check Your Steps 3』に設定されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、観光案内CMをグループで作成発表する学習活動が『Welcome to Japan!』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、中学生になったらどんなことができるかを考える学習活動が『Going to Junior High School』に設定されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、小学校での思い出などを整理して今の自分の思いを発表する学習活動が『Check your steps 3』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、登場人物の会話の内容を吹き出し内にイラストで示した『My Daily Schedule』が掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『Let's Try』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。デジタル教科書についても、同様に構成されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 言語の使用場面や言語の働きについて、世界の国について友達に聞き、自分の行きたい国を調べて文で表現し紹介する学習活動が『Let's see the world』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 小学校外国語活動と関連した構成について、外国語活動での学習内容を振り返る学習活動が『Let's Start』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 国際理解を深めることについて、世界の食事の方法の違いからその国の文化などについて考えるなどの学習活動が『Over the Horizon』に設定されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 学習内容ごとに8つのUnitで構成されている。各Unitは見開き2ページの4つのパートで構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はA4判が採用されている。デジタル教科書について、紙と同じレイアウトの画面上で英単語などを書き込む『コミュニケーションカード』や、会話の動画、音声などを視聴する『Listen and Think アニメ』などが設定されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『全ての児童の色覚特性に適応するようにデザインしています。』と表記されている。</p>		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名≪外国語(英語)≫

※詳細については、資料Ⅱ(英語-7～英語-17)を参照

発行者の略称	開隆堂	書名	Junior Sunshine Word Book
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、各Lessonが映像を見る学習活動から始まり、自分のことを伝え合う学習活動を示した『Activity』につながる構成となっている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、各単元の冒頭で、学習する語句や表現を聞き、推測して意味を考える学習活動が『Let's watch and think』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、単元で学習したことが身についたかを確認するために自己評価をする学習活動が『CAN-DOチェック』に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、英語圏以外の国の人々や地域について考えるなどの学習活動が『Around the world』に設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「国際化」について、世界の国々の標識が何を表すのかを考える学習活動が『Our World』に設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、自分たちの「町のすてきなところ」について発表する学習活動が『I love my town.』に設定されている。</p>		
3 内容と構成	<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、お互いのことをよく知るために、グループでできることや得意なこと、その理由などを伝え合う学習活動が『Activity 2』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、社会科と関連して、世界遺産に関する話題から、「行きたい国クイズ」を作る学習活動が『Where do you want to go?』に設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、各Lessonで学習する英語に慣れ親しむ学習活動が『Let's Play』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、おすすめの日本の名物や行事などについて、ペアでくわしく話す学習活動が『Let's Try』に設定されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、自分たちの町の好きな施設や場所、名産品について発表する学習活動が『I love my town.』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、これまでの学習を振り返り、中学校での自己紹介を考える学習活動が『Let's Check③』に設定されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、身近な人のできることやできないことを紹介するために、聞き取った情報を整理して発表する学習活動が『I can draw pictures well.』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、様々な語彙が、ジャンルごとに『Word Book』の何ページに示されているかが掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『Let's Watch and Think』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。デジタル教科書についても、同様に構成されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 言語の使用場面や言語の働きについて、誕生日や特別な日を友達に質問し、発表する学習活動が『When is your special day?』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 小学校外国語活動と関連した構成について、外国語活動の学習内容を振り返り、慣れ親しんだ表現を使って話す学習活動が『Let's Review!』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 国際理解を深めることについて、おたがいの行きたい国についてわかってもらえるように「行きたい国クイズ」を考える学習活動が『Activity 3』に設定されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 学習内容ごとに8つのLessonで構成されている。各Lessonは見開き2ページの4つのパートで構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はA4判が採用されている。デジタル教科書について、紙と同じレイアウトの画面上で答えなどを書き込む『Let's Listen 2』や会話の動画、音声などを視聴する『Let's Listen and Read』などが設定されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『日本語には見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『カラーユニバーサルの視点から、色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの児童が見やすくなるように配慮しています。』と表記されている。</p>		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名≪外国語(英語)≫

※詳細については、資料Ⅱ(英語-7～英語-17)を参照

発行者の略称	三省堂	書名	CROWN Jr. CROWN Jr. My Dictionary
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、音声中心の学習から始まり、段階的に文字や表現の学習に取り組む学習活動を示した『JUMP』につながる構成となっている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、読む活動と会話を聞く活動から、自分の立場で日本や地域の魅力を先生に紹介するなどの学習活動が『Let's Try』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、各単元のねらいの達成度を自己評価する学習活動が『英語でこんなことができた!』に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、それぞれのよさを認め合いながら、夢を伝え合い応援する学習活動が『Let's Try』に設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「国際化」について、自分の行きたい国を伝え合う学習活動が『I want to go to Kenya.』に設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、日本の行事や地域の施設・自然について伝え合う学習活動が『We have Children's Day in May.』に設定されている。</p>		
3 内容と構成	<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、中学校で入りたい部活動やしてみたいことについて伝え合う学習活動が『Let's Try』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、算数科と関連して、インタビュー結果を円グラフにまとめる学習活動が『I want to join the brass band.』に設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、アルファベットを識別したり、その音を聞き取ったりする学習活動が『ABC FUN BOX』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、白川郷、屋久島、知床、弘前城などを紹介する学習活動が『おすすめの場所を紹介しよう』に設定されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、夢の町を作って、その住人になったつもりで町を紹介する学習活動が『We have Children's Day in May』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、小学校卒業を前に、中学校でやりたいことを考え表現する学習活動が『I want to join the brass band.』に設定されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、自分の住む地域を紹介するために、調べた内容を整理し、伝え合う学習活動が『さあ、本番!』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、文字と一緒に示されているイラストが『Panorama』などに掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『Let's Watch』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。デジタル教科書についても、同様に構成されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 言語の使用場面や言語の働きについて、自分が就きたい職業について友達と対話し、将来の夢を書いて発表する学習活動が『I want to be a singer.』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 小学校外国語活動と関連した構成について、外国語活動で学習した語句や表現を振り返り、慣れ親しんだ表現を使って話す学習活動が『英語で言ってみよう』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 国際理解を深めることについて、世界の小学校の様子を伝え、世界の給食を見ながら自分の学校との共通点を見つける学習活動が『Hello, World!』に設定されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 学習目標ごとに3つのUnitで構成されており、各Unitは2～3つのLessonで構成されている。各Lessonは各2ページのPartが2～3つ設定されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はA4判が採用されている。デジタル教科書について、紙と同じレイアウトの画面上で英単語などを書き込む『Let's read & write』や、会話の動画、音声などを視聴する『Let's watch』などが設定されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『ユニバーサルデザインに配慮したフォントを使用している。』『この教科書は、カラーユニバーサルデザインに配慮して編集しています。』と表記されている。</p>		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名≪外国語(英語)≫

※詳細については、資料Ⅱ(英語-7～英語-17)を参照

発行者の略称	教出	書名	ONE WORLD Smiles
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、学習内容に関わる内容を聞き取る学習活動から始まり、文字と音を結び付ける学習活動を示した『Sounds and Letters』につながる構成となっている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、世界の子どもたちの学校生活を知り、自分の夢の時間割を作成して伝えるなどの学習活動が『Final Activity』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、CAN-DOリスト形式で学習を振り返る学習活動が『Lesson○をふり返ろう』に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、他者のために行動することの大切さを伝える物語の登場人物になりきるなどの学習活動が『Let's Read and Act』に設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> 「たくましく生きる力」の「国際化」について、世界の子どもたちの将来についての考えを聞き、自分の将来の夢について考える学習活動が『What do you want to be?』に設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、外国の人のために、日本の地図記号ガイドをつくる学習活動が『Let's Write』に設定されている。</p>
3 内容と構成			<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、夏休みに行ったことについて、自分の作成した絵日記を紹介しながら伝え合う学習活動が『Final Activity』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、家庭科と関連して、お勧めのオリジナルメニューを作る学習活動が『I'd like pizza.』に設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、自分の食べたいものや飲みたいものを選択肢から選んで、伝え合うなどの学習活動が『Activity 1』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、海外からの観光客が日本のどんな文化に興味があるかをその理由も含めて聞き取る学習活動が『Let's Listen 1』に設定されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、ピザのオリジナル・メニューを作りレストランのロールプレイをする学習活動が『I'd like pizza』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、中学校での部活動や授業、行事などについて知り、中学校でしたいことを発表する学習活動が『Junior High School Life』に設定されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、憧れの人について調べたことを整理して発表するなどの学習活動が『Activity 1』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、挿絵や漫画の形式で示された『Read and Act』が掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『Final Activity』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。デジタル教科書についても、同様に構成されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 言語の使用場面や言語の働きについて、夢の時間割を友達に質問し、発表する学習活動が『I have P.E. on Monday.』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 小学校外国語活動と関連した構成について、外国語活動で慣れ親しんだ語句や表現について振り返る学習活動が『Let's start together』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 国際理解を深めることについて、行きたい国とそこで行いたいことについて尋ねあい、夢の世界ツアーのパンフレットを作成する学習活動が『Final Activity』に設定されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 学習内容ごとに、第5学年では9つ、第6学年では8つのLessonで構成されている。各Lessonは、2ページ程度の4つのパートで構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。デジタル教科書について、紙と同じレイアウトの画面上で英単語などを書き込む『Final Activity』や、会話の動画、音声視聴する『Let's watch』などが設定されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』と表記されている。</p>

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名≪外国語(英語)≫

※詳細については、資料Ⅱ(英語-7～英語-17)を参照

発行者の略称	光村	書名	Here We Go!
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、各単元で学習事項と『Goal』が掲載されており、音声中心の学習から始まり、自分のことを伝え合うなどの学習活動を示した『Jump!』につながる構成となっている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、友達のできることを知り、友達や先生を当てるクイズを作成するなどの学習活動が『Let's speak』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、Unitごとに達成度を確認する学習活動が『ふりかえろう』に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、金子みすゞの詩をとりあげ、違いを認め合う詩を作って発表する学習活動が『Everyone Is Special』に設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「国際化」について、世界のどこに住んでいても同じ地球に住む仲間であることを伝えるメッセージを作成する学習活動が『Me on the Map』に設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、地域の魅力を伝えるチャンツを作る学習活動が『まとめ You can do it! 3』に設定されている。</p>		
3 内容と構成	<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、世界の人に向けて、自分の町の魅力を伝えるパンフレットを作る学習活動が『Let's write and speak.』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、道徳科と関連して、だれもが住みやすい理想の町を考え、案内する学習活動が『Where is the library?』に設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、友達とどんなものが好きかを尋ね合い、共通点や新たな一面を見つける学習活動が『Let's Try』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、自分の住む都道府県の魅力について、紹介する学習活動が『Let's think』に設定されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、地域の名産品を使った料理を考えて注文し合う学習活動が『What would you like?』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、中学校で学習する内容について知り、できるようになったことを振り返る学習活動が『中学校に向けて英語の学習を続けていこう』に設定されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、自分の町のお気に入りの場所を伝えるために、情報を整理してパンフレットを作成する学習活動が『This is my town.』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、イラストや写真で場面や状況に関する情報を示した『Let's watch』が掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『Let's Watch and Think』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。デジタル教科書についても、同様に構成されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 言語の使用場面や言語の働きについて、自分で考えたオリジナル料理を発表し、友達と対話する学習活動が『What would you like?』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 小学校外国語活動と関連した構成について、外国語活動で学習した語句や表現、アルファベットを振り返るなどの学習活動が『Let's start』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 国際理解を深めることについて、世界の小学生になりきってどんな時間割で勉強しているかを尋ねあう学習活動が『Let's Try』に設定されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 学習内容ごとに8つのUnitで構成されている。各Unitは見開き2ページの4つのパートの流れで学習する構成となっている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。デジタル教科書について、紙と同じレイアウトの画面上で英単語などを書き込む『Let's write and read』や、会話の動画、音声などを視聴する『Let's watch』などが設定されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『次の観点から専門家による校閲を行っています。カラーユニバーサルデザイン(後略)』『日本語の文には、見やすいユニバーサルデザイン書体を使用しています。』と表記されている。</p>		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名≪外国語(英語)≫

※詳細については、資料Ⅱ(英語-7～英語-17)を参照

発行者の略称	啓林館	書名	Blue Sky elementary
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、音声中心の学びから始まり、『Goal』につながる学習活動を示した『Step3』につながる構成となっている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、外国の人に人気のある日本の場所などを知り、外国の人に日本に来てもらえるように紹介するなどの学習活動が『Activity』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、できるようになったことを確認したり、学んだことの活用場面について考えるなどの学習活動が『Look Back』に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、マラウイに住む少年の一日を聞き取るなどの学習活動が『Friends around the world』に設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「国際化」について、クイズを通して世界の生活について知り、生活をよくするための工夫を考える学習活動が『Did you know?』に設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、食品ロスなど世界の問題を考える学習活動が『Did you know?』に設定されている。</p>		
3 内容と構成	<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、放課後の過ごし方を外国の人に紹介するつもりで、友達や先生に伝えるなどの学習活動が『Activity』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、家庭科と関連して、食べ物の味や特徴を表す英語を聞き取る学習活動が『I'd like pizza.』に設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、英語を聞いたり、chantsを歌ったりして、目標とする言語活動につながるための学習活動が『Step1.2』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、自分の行ってみたい国を相手に伝える学習活動が『Let's go to Singapore.』に設定されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験学習の充実について、自分の地域の日本の食べ物を、外国の人に紹介する学習活動が『I'd like Pizza.』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、中学生になったらやってみたいことを伝える学習活動が『I want to join the brass band.』に設定されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、自分が行ってみたい国について、調べたことを整理して発表する学習活動が『Let's go to Singapore.』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、音を聞き取る課題の文字が青で色分けされて『Listen and Read』に掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『Watch and Do』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。デジタル教科書についても、同様に構成されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 言語の使用場面や言語の働きについて、学年行事の思い出を別の学校の人などに伝える学習活動が『My favorite memory is the school trip.』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 小学校外国語活動と関連した構成について、外国語活動での学習内容を振り返り、慣れ親しんだ表現を使って話す学習活動が『Pre Unit』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 国際理解を深めることについて、世界の人々が生活をよくするために、どんな工夫をしているかを考える学習活動が『Did you know?』に設定されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 学習内容ごとに8つのUnitで構成されている。各Unitは2ページの4つのパートと振り返りで構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はA4判が採用されている。デジタル教科書について、紙と同じレイアウトの画面上で英単語などを書き込む『Let's Read and Write』や、会話の動画、音声などを視聴する『Watch the Scene』などが設定されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『見やすいユニバーサルフォントを採用しています。』『個人の特性にかかわらず、内容が伝わりやすい配色・デザインを用いました。(後略)』と表記されている。</p>		

【資料Ⅱ】

教科種目名《外国語(英語)》

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮	
東書	「知識・技能」の習得について、単元の学習事項を聞き取る学習活動『Starting Out』から始まり、聞く活動を示した『Let's watch』などにつながる構成となっている。アルファベットなどを教科書に書き込む活動を示した『Sounds and Letters』が設定されている。
開隆堂	「知識・技能」の習得について、各Lessonが映像を見る学習活動から始まり、自分のことを伝え合う学習活動を示した『Activity』につながる構成となっている。第5・6学年共通して、Lessonの内容に関連する英語が『Word Book』に掲載されている。
三省堂	「知識・技能」の習得について、音声中心の学習から始まり、段階的に文字や表現の学習に取り組む学習活動を示した『JUMP』につながる構成となっている。また、『Word Chant』で扱われる単語が別冊の『CROWN Jr. My Dictionary』に掲載されている。
教出	「知識・技能」の習得について、学習内容に関わる内容を聞き取る学習活動から始まり、文字と音を結び付ける学習活動を示した『Sounds and Letters』につながる構成となっている。第5学年では、イラストや短い単語を書き写すことができ、第6学年では、短い文を書くことができるワークシートが掲載されている。
光村	「知識・技能」の習得について、各単元で学習事項と『Goal』が掲載されており、音声中心の学習から始まり、自分のことを伝え合うなどの学習活動を示した『Jump!』につながる構成となっている。
啓林館	「知識・技能」の習得について、第5・6学年共通して、音声中心の学習から始まり、『Goal』につながる学習活動を示した『Step 3』につながる構成となっている。単語や表現を聞き、意味を想像する活動や話の内容を聞き取る活動として『Words and Phrases』が設定されている。
② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮	
東書	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第5・6学年共通して、複数の単元で学習したことを使って内容を整理しながら、自分の思いや考えを表現する学習活動が『Check your Steps』に設定されている。活動前の目標と活動後の振り返りを書く学習活動が『Your Goal』に設定されている。
開隆堂	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、各単元の冒頭で、学習する語句や表現を聞き、推測して意味を考える学習活動が『Let's watch and think』に設定されている。各Unitには、誰に何を伝えるのかについて書くなどの学習活動が『Let's Try 4』に設定されている。
三省堂	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第5・6学年共通して、読む活動と会話を聞く活動から、自分の立場で日本や地域の魅力を先生に紹介するなどの学習活動が『Let's Try』に設定されている。また、活動のヒントが示されている『さあ、本番!』が掲載されている。
教出	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第5学年では、世界の子どもの学校生活を知り、自分の夢の時間割を作成して伝えるなどの学習活動が『Final Activity』に設定されている。また、第6学年では、絵日記を作って、夏休みにしたことを伝え合うなどの学習活動が『Final Activity』に設定されている。
光村	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、友達のことを知り、友達や先生を当てるクイズを作成するなどの学習活動が『Let's speak』に設定されている。また、各単元に自分の考えや気持ちを表現する学習活動が『Let's Try』に設定されている。
啓林館	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第6学年では、外国の人に人気のある日本の場所などを知り、外国の人に日本に来てもらえるように紹介するなどの学習活動が『Activity』に設定されている。また、学習したことをまとめるなどの学習活動が『REVIEW』に設定されている。

③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養するための工夫や配慮	
東書	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学習を振り返り、自己評価する学習活動が『Over the Horizonのふり返り』などに設定されている。また、ゴールに対する目標が、単元の導入となる『Starting Out』に掲載されている。
開隆堂	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第5・6学年共通して、単元で学習したことが身についたかを確認するために自己評価をする学習活動が『CAN-DOチェック』に設定されている。また、自分のことを考え、話す内容を整理し、ペアで話し合う学習活動が『Let's Try 2』に設定されている。
三省堂	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、各単元のねらいの達成度を自己評価する学習活動が『英語でこんなことができた!』に設定されている。世界のスポーツなどを示した『Hello world』が掲載されている。
教出	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第5・6学年共通して、CAN-DOリスト形式で学習を振り返る学習活動が『Lesson〇をふり返ろう』に設定されている。また、日本や世界各地の情報を示した『名所・名物マップ』が掲載されている。
光村	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第5・6学年共通して、Unitごとに達成度を確認する学習活動が『ふりかえろう』に設定されている。また、学習の仕方を示した『この教科書の構成と使い方』が掲載されている。
啓林館	「学びに向かう力・人間性等」を涵養について、第5・6学年共通して、できるようになったことを確認したり、学んだことの活用場面について考えるなどの学習活動が『Look Back』に設定されている。また、児童自身が達成度を確認しながら学習を進められるように各Stepに『できたかな』が設定されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

④ 【思いやる力】他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。 (共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)	
東書	【思いやる力】の「共生」について、第5学年では、アイヌ文化についての説明を聞いて、もっと知りたいことを考える学習活動が『Over the horizon』に設定されている。また、第6学年では、アフガニスタンの人々に貢献した中村哲がUnit 8『物語探検』に掲載されている。
開隆堂	【思いやる力】の「共生」について、第5・6学年共通して、英語圏以外の国の人々や地域について考えるなどの学習活動が『Around the world』に設定されている。また、車いすを使用する方や様々な年齢の人のイラストが掲載されている。
三省堂	【思いやる力】の「共生」について、それぞれのよさを認め合いながら、夢を伝え合い応援するなどの学習活動が『Let's Try』に設定されている。また、聞くポイントを示し、相手を理解し、受け入れる姿勢を示した『聞き手の様子をよく見ながら』が掲載されている。
教出	【思いやる力】の「共生」について、第5・6学年共通して、他者ために行動することの大切さを伝える物語の登場人物になりきるなどの学習活動が『Let's Read and Act』に設定されている。また、いろいろなスポーツや競技で活躍をしている人物を紹介する英語を聞き取る学習活動が『Let's Listen 3』に設定されている。
光村	【思いやる力】の「共生」について、第5学年では、金子みすゞの詩をとりあげ、違いを認め合う詩を作って発表する学習活動が『Everyone Is Special』に設定されている。また、第6学年では、外国の友達からの手紙を読む学習活動が『世界の友達3』に設定されている。
啓林館	【思いやる力】の「共生」について、第6学年では、マラウイに住む少年の一日を聞き取るなどの学習活動が『Friends around the world』に設定されている。また、インターネットを通じて世界中の人たちとつながる様子が『I'm from Tokyo, Japan.』に掲載されている。

⑤ [たくましく生きる力] 自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。	
(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力 など)	
東書	[たくましく生きる力]の「国際化」について、第5学年では、世界の食文化について考える学習活動が『At a restaurant』に設定されている。また、第6学年では、身の回りのものがどこから来たのかを考える学習活動が『Where is it from?』に設定されている。
開隆堂	[たくましく生きる力]の「国際化」について、第5学年では、世界の国々の標識が何を表すのかを考える学習活動が『Our World』に設定されている。また、第6学年では、世界の様々な行事や日本から海を渡った偉人たちなどを扱った教材が『Around the World』に設定されている。
三省堂	[たくましく生きる力]の「国際化」について、第5学年では、自分の行きたい国を伝え合う学習活動が『I want to go to Kenya.』に設定されている。また、第6学年では、Lessonのまとめとして、世界のまつりや小学校を取り上げた『Hello, World』が掲載されている。
教出	[たくましく生きる力]の「国際化」について、第6学年では、世界の子どもたちの将来についての考えを聞き、自分の将来の夢について考える学習活動が『What do you want to be?』に設定されている。また、世界の子どもたちはどんなことを話しているのかや文化を取り上げた『World of Smiles』などが掲載されている。
光村	[たくましく生きる力]の「国際化」について、第6学年では、世界のどこに住んでいても同じ地球に住む仲間であることを伝えるメッセージを作成する学習活動が『Me on the Map』に設定されている。また、世界各国の小学生の考えや暮らしを紹介している『世界の友達』が掲載されている。
啓林館	[たくましく生きる力]の「国際化」について、第5・6学年共通して、クイズを通して世界の生活について知り、生活をよくするための工夫を考える学習活動が『Did you know?』に設定されている。また、第5学年では、行ってみたい国を考え、友達を誘う学習活動が『Let's go to Singapore.』に設定されている。
⑥ [社会とかかわる力] 社会とかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。	
(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動 など)	
東書	[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、第6学年では、地域の環境のためにできることを考え、発表する学習活動が『Save the animals.』に設定されている。また、第5学年では、自分が暮らす地域のよさについて、内容を整理して伝え合う学習活動が『Check Your Steps 2』に設定されている。
開隆堂	[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、第5学年では、自分たちの「町のすてきなところ」について発表する学習活動が『I love my town.』に設定されている。また、第6学年では、どの国にもその国の伝統や文化、環境に基づいた職業があることを扱った教材が『My dream』に設定されている。
三省堂	[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、第6学年では、日本の行事や地域の施設・自然について伝え合う学習活動が『We have Children's Day in May.』に設定されている。また、第5学年では、自分たちの地域でできることを考えて紹介する活動が『Let's Speak』に設定されている。
教出	[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、第5学年では、外国人の人のために、日本の地図記号ガイドをつくる学習活動が『Let's Write』に設定されている。また、第6学年では、世界の子どもたちの将来の夢について考え、伝え合う活動が『What do you want to be?』に設定されている。
光村	[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、第5学年では、地域の魅力を伝えるチャンツを作る学習活動が『まとめ You can do it! 3』に設定されている。また、第6学年では、地域の名産品を使ったメニューを表を作り、料理を注文し合うなどの活動が『Let's speak』に設定されている。
啓林館	[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、食品ロスなど世界の問題を考える学習活動が『Did you know?』に設定されている。また、第6学年では、自分の住む地域のよさや、さらにそれをよくするためのアイデアを発表する学習活動が『Activity』に設定されている。

3 内容と構成

- 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮	
東書	主体的・対話的で深い学びについて、第5・6学年共通して、グループで話し合いながら、思考ツールを用いて自分の伝えたい内容を整理するなどの学習活動が『Check Your Steps』に設定されている。また、学習を見直し振り返る場面として、各単元の最初に、単元の目標となる『Our Goal』が掲載されている。
開隆堂	主体的・対話的で深い学びについて、お互いのことをよく知るために、グループでできることや得意なこと、その理由などを伝え合う学習活動が『Activity 2』に設定されている。また、単元で身に付ける力やその達成に向けたためあてが『Goal』に掲載されている。
三省堂	主体的・対話的で深い学びについて、第6学年では、中学校で入りたい部活動やしてみたいことについて伝え合う学習活動が『Let's Try』に設定されている。また、第5・6学年共通して、LessonやUnitの終わりに、児童が英語でできるようになったことを確かめ、チェックする学習活動が『ふりかえり』に設定されている。
教出	主体的・対話的で深い学びについて、夏休みに行ったことについて、自分の作成した絵日記を紹介しながら伝え合う学習活動が『Final Activity』に設定されている。また、第5・6学年共通して、学習を見直し振り返る学習活動が『あなたが英語でできるようになりたいことを書いてみよう』に設定されている。
光村	主体的・対話的で深い学びについて、世界の人に向けて、自分の町の魅力を伝えるパンフレットを作る学習活動が『Let's write and speak.』に設定されている。第5・6学年共通して、Unitごとに達成度を確認する学習活動が『ふりかえろう』に設定されている。
啓林館	主体的・対話的で深い学びについて、第5学年では、放課後の過ごし方を外国人の人に紹介するつもりで、友達や先生に伝えるなどの学習活動が『Activity』に設定されている。また、第6学年では、最近の印象に残った出来事を友達に伝えて、日記に書くなどの学習活動が『Activity』に設定されている。
⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮	
(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、小学校6年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、児童が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすいような工夫や配慮など)	
東書	カリキュラム・マネジメントについて、第5学年では、社会科などと関連して、都道府県や日本の魅力を伝える学習活動が『Welcome to Japan!』に設定されている。第6学年では、理科と関連して、絶滅危惧種の動物を取り上げた『Save the animals.』が掲載されている。
開隆堂	カリキュラム・マネジメントについて、社会科と関連して、世界遺産に関する話題から、「行きたい国クイズ」を作る学習活動が『Where do you want to go?』に設定されている。また、第5学年では、家庭科と関連して、予算内に収めて買物をする『What would you like?』が掲載されている。
三省堂	カリキュラム・マネジメントについて、第6学年では、算数科と関連して、インタビュー結果を円グラフにまとめる学習活動が『I want to join the brass band.』に設定されている。第5学年では、社会科と関連して、県庁所在地や日本の名所・名物を取り上げた『Hello, World!』が掲載されている。
教出	カリキュラム・マネジメントについて、第5学年では、家庭科と関連して、お勧めのオリジナルメニューを作る学習活動が『I'd like pizza.』に設定されている。また、第5学年では、社会科と関連して、47都道府県を扱った『名所・名物マップ』が掲載されている。
光村	カリキュラム・マネジメントについて、第5学年では、道徳科と関連して、だれもが住みやすい理想の町を考え案内する学習活動が『Where is the library?』に設定されている。第6学年では、理科と関連して、動物の生態や環境を取り上げた『We live together.』が掲載されている。
啓林館	カリキュラム・マネジメントについて、第5学年では、家庭科と関連して、食べ物の味や特徴を表す英語を聞き取る学習活動が『I'd like pizza.』に設定されている。第6学年では、社会科と関連して、日本の行事や特産品を取り上げた『Welcome to Japan.』が掲載されている。

○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑨ 言語能力の確実な育成	
東書	言語能力の育成について、第5・6学年共通して、英語の文を声に出して読むなどの学習活動が『Sounds and Letters』に設定されている。また、各Unitでは学習内容の定着を図る学習活動が『Your turn』に設定されている。
開隆堂	言語能力の育成について、第5・6学年共通して、各Lessonで学習する英語に慣れ親しむ学習活動が『Let's Play』に設定されている。また第5学年の各Lesson末には、アルファベットに慣れ親しみ、習得するための『Letter Box』が掲載されている。
三省堂	言語能力の育成について、第5・6学年に共通して、アルファベットを識別したり、その音を聞き取ったりする学習活動が『ABC FUN BOX』に設定されている。また、各Lessonともに、学んだ語句や表現を使う学習活動が『思えばく』『出会う』『慣れ親しむ』『伝え合う』『表現する』に設定されている。
教出	言語能力の育成について、第5学年では、自分の食べたいものや飲みたいものを選択肢から選んで、伝え合うなどの学習活動が『Activity 1』に設定されている。第6学年では、日本の行事や文化などについて伝え合うなどの学習活動が『Activity 1』に設定されている。
光村	言語能力の育成について、友達とどんなものが好きかを尋ね合い、共通点や新たな一面を見つける学習活動が『Let's Try』に設定されている。第5学年では、地域の名産品を広めるためにオリジナル料理を考えて注文し合う学習活動が『What would you like?』に設定されている。
啓林館	言語能力の育成について、第5・6学年に共通して、英語を聞いたり、chantsを歌ったりして、目標とする言語活動につながるための学習活動が『Step1.2』に設定されている。また、表現できる語彙やフレーズを増やす学習活動が『Words and Phrases』に設定されている。
⑩ 伝統や文化に関する教育の充実	
東書	伝統や文化に関する教育の充実について、第5学年では、日本の魅力について、内容を整理して発表する学習活動が『Check Your Steps 3』に設定されている。また、第5学年では、日本で輪島塗を制作している外国人の人などを紹介する映像を見て、質問に答える学習活動が『日本探検』に設定されている。
開隆堂	伝統や文化に関する教育の充実について、おすすめの日本の名物や行事などについて、ペアでくわしく話す学習活動が『Let's Try』に設定されている。また、第6学年では、自分の興味のある国について調べ、その国の魅力を伝え合う学習活動が『Where do you want to go?』に設定されている。
三省堂	伝統や文化に関する教育の充実について、第5学年では、白川郷、屋久島、知床、弘前城などを紹介する学習活動が『おすすめの場所を紹介しよう』に設定されている。また、第6学年では、世界のいろいろな料理を知り、アメリカの通貨を使って買い物をする学習活動が『Try 買い物』に設定されている。
教出	伝統や文化に関する教育の充実について、第6学年では、海外からの観光客が日本のどんな文化に興味があるかをその理由も含めて聞き取る学習活動が『Let's Listen 1』に設定されている。また、第6学年Lesson 5には世界地図とともに各国の名所や名物が紹介されている『Dream World Tour 名所・名物マップ』が掲載されている。
光村	伝統や文化に関する教育の充実について、第5学年では、自分の住む都道府県の魅力について紹介する学習活動が『Let's think』に設定されている。また、第6学年では、世界の友達に日本のことを伝える学習活動が『まとめ You can do it 1』に設定されている。
啓林館	伝統や文化に関する教育の充実について、第5学年では、自分の行ってみたい国を相手に伝える学習活動が『Let's go to Singapore.』に設定されている。また、第6学年では、日本の魅力について季節ごとの名物などを扱う『Welcome to Japan.』が掲載されている。

⑪ 体験活動の充実	
東書	体験活動の充実について、第5学年では、観光案内CMをグループで作って発表する学習活動が『Welcome to Japan!』に設定されている。また、第6学年では、週末にしたことを友達に伝え合う学習活動が『Your Goal』に設定されている。
開隆堂	体験活動の充実について、第5学年では、自分たちの町の好きな施設や場所、名産品について発表する学習活動が『I love my town.』に設定されている。また、第6学年では、小学校生活の一番の思い出について発表する学習活動が『My best Memory』に設定されている。
三省堂	体験学習の充実について、第6学年では、夢の町を作って、その住人になったつもりで町を紹介する学習活動が『We have Children's Day in May』に設定されている。また、第5学年では、自分たちが観光大使になって、地域の魅力をアピールする学習活動が『It is in Fukui.』に設定されている。
教出	体験活動の充実について、第5学年では、ピザのオリジナル・メニューを作りレストランのロールプレイをする学習活動が『I'd like pizza』に設定されている。第6学年では、海外の人に『日本のすてき』をポスターで伝える学習活動が『Welcome to Japan.』に設定されている。
光村	体験活動の充実について、第5学年では、地域の名産品を使った料理を考えて注文し合う学習活動が『What would you like?』に設定されている。第6学年では、旅行会社の人になって世界の国々の魅力を紹介する学習活動が『I want to go to Italy.』に設定されている。
啓林館	体験学習の充実について、第5学年では、自分の地域の日本の食べ物を、外国の人に紹介する学習活動が『I'd like Pizza.』に設定されている。第6学年では、外国の人に、日本の魅力を紹介する学習活動が『Welcome to Japan.』に設定されている。
⑫ 学校段階間の円滑な接続	
東書	学校段階間の円滑な接続について、第6年生巻末に、中学生になったらどんなことができるかを考える学習活動が『Going to Junior High School』に設定されている。また、第6学年の最終単元では、小学校で学習した表現を使って、伝えたい思いを発表する学習活動が『卒業！今伝えたい、わたしの思い』に設定されている。
開隆堂	学校段階間の円滑な接続について、第6学年では、これまでの学習を振り返り、中学校での自己紹介を考える学習活動が『Let's Check③』に設定されている。また、小学校の既習事項を確認する『CAN-DOチェック』が掲載されている。
三省堂	学校段階間の円滑な接続について、小学校卒業を前に、中学校でやりたいことを考え表現する学習活動が『I want to join the brass band.』に設定されている。また、小学校の既習事項を確認するページが掲載されている。
教出	学校段階間の円滑な接続について、第6学年では、中学校での部活動や授業、行事などについて知り、中学校でしたいことを発表する学習活動が『Junior High School Life』に設定されている。また、日本語と英語の文の構造の違いについて扱った『Activity 1』が掲載されている。
光村	学校段階間の円滑な接続について、中学校で学習する内容について知り、6年生でできるようになったことを振り返る学習活動が『中学校に向けて英語の学習を続けていこう』に設定されている。また、学習した表現を使って自己紹介する学習活動が『All About Me』に設定されている。
啓林館	学校段階間の円滑な接続について、中学生になったらやってみたいことを伝える学習活動が『I want to join the brass band.』に設定されている。また、第5・6学年共通して、できるようになったことをチェックする『Can Do List』が掲載されている。

⑬ 情報活用能力の育成	
東書	情報活用能力の育成について、第6学年では、小学校での思い出などを整理して今の自分の思いを発表する学習活動が『Check your steps 3』に設定されている。また、中学校で入りたい部活動やなりたい職業などについて情報を整理してペアで伝える学習活動が『Enjoy Communication』に設定されている。
開隆堂	情報活用能力の育成について、第5学年では、身近な人のできることやできないことを紹介するために、聞き取った情報を整理して発表する学習活動が『I can draw pictures well.』に設定されている。第6学年では、思い出のアルバムに添える動画をとる場面を取り上げた『My Best Memory』が掲載されている。
三省堂	情報活用能力の育成について、自分の住む地域を紹介するために、調べた内容を整理し、伝える学習活動が『さあ、本番!』に設定されている。また、第5学年では、将来の生活や職業について取り上げた『人物紹介クイズ』が掲載されている。
教出	情報活用能力の育成について、第5学年では、憧れの人について調べたことを整理して発表するなどの学習活動が『Activity 1』に設定されている。第6学年では、思い出に残っている学校行事について尋ね合うなどの学習活動が『Activity』に設定されている。
光村	情報活用能力の育成について、第5学年では、自分の町のお気に入りの場所を伝えるために、情報を整理してパンフレットを作成する学習活動が『This is my town.』に設定されている。行きたい国とその理由をたずね合い、自分と同じ国に行きたい友達を探すなどの学習活動が『Let's try』に設定されている。
啓林館	情報活用能力の育成について、第5学年では、自分が行ってみたい国について、調べたことを整理して発表する学習活動が『Let's go to Singapore.』に設定されている。第6学年では、タブレットを使って日本の魅力を紹介する場面を取り上げた『Welcome to Japan.』が掲載されている。
⑭ 児童の学習上の困難さに応じた工夫	
東書	児童の学習上の困難さへの対応について、登場人物の会話の内容を吹き出し内にイラストで示した『My Daily Schedule』が掲載されている。アルファベットを書く活動において、矢印でなぞり書きの方向を示している。
開隆堂	児童の学習上の困難さへの対応について、第5・6学年共通して、様々な語彙が、ジャンルごとに分類され『Word Book』の何ページに示されているかが掲載されている。また、『Lesson』のはじめに、単元の見通しがもてるよう、学習の流れ、『GOAL』が示してある。
三省堂	児童の学習上の困難さへの対応について、文字と一緒に示されているイラストが『Panorama』などに掲載されている。また、児童の理解を促すヒントを示すキャラクターが『ことばのふしぎ』などに掲載されている。
教出	児童の学習上の困難さへの対応について、第5学年では、挿絵や漫画の形式で示された『Read and Act』が掲載されている。また、巻末のアルファベットカードを使って、メモリーゲームなどゲーム形式でアルファベットに慣れ親しむ学習活動が『The Alphabet』に設定されている。
光村	児童の学習上の困難さへの対応について、第5・6学年共通して、イラストや写真で場面や状況に関する情報を示した『Let's watch』が掲載されている。また、会話や発表の役割ごとにセリフの吹き出しの色を変えている。
啓林館	児童の学習上の困難さへの対応について、第6学年では、音を聞き取る課題の文字が青で色分けされて『Listen and Read』に掲載されている。また、第5・6学年共通して、状況や場面の理解の助けとして、写真やイラストなどを使用している。

15 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	
東書	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第5・6学年共通して『Let's Try』などに、小学校生活の思い出を振り返り、友達と思いを伝え合うなどの学習活動が『Enjoy Communication』に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。デジタル教科書についても、同様に構成されている。
開隆堂	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第5・6学年共通して『Let's Watch and Think』などに、音声で慣れ親しんだ英語を文字と結びつけるなどの学習活動として『Let's Listen and Read』に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。デジタル教科書についても、同様に構成されている。
三省堂	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第5・6学年共通して『Let's Watch』などに、慣れ親しんだ英語を聞きながら音と文字を結びつけるなどの学習活動が『Let's Listen & Read』に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。デジタル教科書についても、同様に構成されている。
教出	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第5・6学年共通して『Final Activity』などに、また、会話を聞いて、その内容を聞き取るなどの学習活動が『Activity』に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。デジタル教科書についても、同様に構成されている。
光村	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第5・6学年共通して『Let's Watch and Think』などに、また、学習した表現を使用した短いやりとりを聞くなどの学習活動が『Small Talk』に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。デジタル教科書についても、同様に構成されている。
啓林館	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が第5・6学年共通して『Watch and Do』などに、また、海外の友達が話している英語を聞き取るなどの学習活動が『Friends around the World』に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。デジタル教科書についても、同様に構成されている。
16 「聞くこと」「読むこと」「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」「書くこと」などのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を総合的に育成できるよう、実際の言語の使用場面や言語の働き等に十分配慮した題材を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	
東書	言語の使用場面や言語の働きについて、第6学年では、世界の国について友達に聞き、自分の行きたい国を調べて文で表現し紹介する学習活動が『Let's see the world』に設定されている。また、第5学年では、だれがどんなことができるのかについて、友達に質問し、発表する学習活動が『Let's Try』に設定されている。
開隆堂	言語の使用場面や言語の働きについて、第5学年では、誕生日や特別な日を友達に質問し、発表する学習活動が『When is your special day?』に設定されている。また、第6学年では、行きたい国の魅力を伝え合い、グループで発表し合う学習活動が『Where do you want to go?』に設定されている。
三省堂	言語の使用場面や言語の働きについて、第6学年では、自分が就きたい職業について友達と対話し、将来の夢を書いて発表する学習活動が『I want to be a singer.』に設定されている。また、第5学年では、さまざまな人のできることや得意なことを人物紹介クイズを作って伝える学習活動が『She can bake cookies.』に設定されている。
教出	言語の使用場面や言語の働きについて、第5学年では、夢の時間割を友達に質問し、発表する学習活動が『I have P.E. on Monday.』に設定されている。また、第6学年では、外国人観光客が興味のある日本文化を聞き取り、ポスターを使って日本のよさを紹介する学習活動が『Welcome to Japan.』に設定されている。
光村	言語の使用場面や言語の働きについて、第5学年では、自分で考えたオリジナル料理を発表し、友達と対話する学習活動が『What would you like?』に設定されている。また、第6学年では、小学校での思い出を書き、発表する学習活動が『My Best Memory』に設定されている。
啓林館	言語の使用場面や言語の働きについて、第6学年では、学年行事の思い出を別の学校の人などに伝える学習活動が『My favorite memory is the school trip.』に設定されている。また、第5学年では、行ってみたい国や、そこでできることを伝え合うなどの学習活動が『Let's go to Singapore.』に設定されている。

⑰ 小学校外国語活動との関連した構成となるよう、外国語活動で扱った音声や表現を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	
東書	小学校外国語活動と関連した構成について、第5学年では、外国語活動での学習内容を振り返る学習活動が『Let's Start』に設定されている。別冊の『My picture Dictionary』に『3・4年生で学習した主な表現』が掲載されている。
開隆堂	小学校外国語活動と関連した構成について、第5学年の冒頭に、外国語活動の学習内容を振り返り、慣れ親しんだ表現を使って話す学習活動が『Let's Review!』に設定されている。別冊の『Word Book』には第3・4学年の外国語活動で扱われたものも含め、言語材料が掲載されている。
三省堂	小学校外国語活動と関連した構成について、学年の冒頭に、外国語活動で学習した語句や表現を振り返り、慣れ親しんだ表現を使って話す学習活動が『英語で言ってみよう』に設定されている。別冊の『My Dictionary』にはアルファベットを確認する『アルファベット表』や『キーボード表』が掲載されている。
教出	小学校外国語活動と関連した構成について、第5学年では、外国語活動で慣れ親しんだ語句や表現について振り返る学習活動が『Let's start together』に設定されている。第5学年の教科書の巻末には、外国語活動で学習した語が掲載されている。
光村	小学校外国語活動と関連した構成について、外国語活動で学習した語句や表現、アルファベットをふり返るなどの学習活動が『Let's start』に設定されている。巻末の『Picture Dictionary』には小学校外国語活動での学習を生かせるように、『外国語活動の振り返り』が設定されている。
啓林館	小学校外国語活動と関連した構成について、第5学年では、外国語活動の学習内容を振り返り、慣れ親しんだ表現を使って話す学習活動が『Pre Unit』に設定されている。また、各Unit扉のページでは、既習事項を使ってやり取りできる挿絵や写真が掲載されている。
⑱ 国際理解を深めることにつながるように、世界の人々や日本人のくらしや、歴史、文化、自然などが、児童の発達段階や興味・関心に即して取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	
東書	国際理解を深めることについて、第5学年では、世界の食事の方法の違いからその国の文化などについて考えるなどの学習活動が『Over the Horizon』に設定されている。また、第6学年では、世界遺産の魅力などについて考えるなどの学習活動が『Over the Horizon』に設定されている。
開隆堂	国際理解を深めることについて、おたがいの行きたい国についてわかってもらえるように「行きたい国クイズ」を考える学習活動が『Activity 3』に設定されている。第5学年では、いくつかの国の授業の様子を取り上げた『Around the World』が掲載されている。
三省堂	国際理解を深めることについて、世界の小学校の様子を伝え、世界の給食を見ながら自分の学校との共通点を見つける学習活動が『Hello, World!』に設定されている。また、第5学年では、名前をへボン式ローマ字で書くときのルールについて説明されている『ローマ字で自分の名前を書こう』が掲載されている。
教出	国際理解を深めることについて、行きたい国とそこでやりたいことについて尋ねあい、夢の世界ツアーのパンフレットを作成する学習活動が『Final Activity』に設定されている。第5学年では、世界の子どもの生活の様子を取り上げた『Let's Look at the World』が掲載されている。
光村	国際理解を深めることについて、世界の小学生になりきってどんな時間割で勉強しているかを尋ねあう学習活動が『Let's Try』に設定されている。第5・6学年共通して、世界の友達の国や生活についてなどの紹介が『世界の友達1～3』に掲載されている。
啓林館	国際理解を深めることについて、世界の人々が生活をよくするために、どんな工夫をしているかを考える学習活動が『Did you know?』に設定されている。また、第5学年では、導入で世界各国の名物料理や世界遺産が紹介されている『Let's go to Singapore.』が掲載されている。

4 分量・装丁・表記等

⑱ 各内容の分量とその配分は適切であるか。	
東書	学習内容ごとに8つのUnitで構成されている。各Unitは見開き2ページの4つのパートで構成されている。第6学年では、中学校での学習につながる発展的な学習ページが2ページで構成されている。
開隆堂	学習内容ごとに8つのLessonで構成されている。各Lessonは見開き2ページの4つのパートで構成されている。第6学年では、中学校での学習につながる発展的な学習のページが4ページで構成されている。
三省堂	学習目標ごとに3つのUnitで構成されており、各Unitは2～3つのLessonで構成されている。各Lessonは各2ページのPartが2～3つ設定されている。
教出	学習内容ごとに、第5学年では9つ、第6学年では8つのLessonで構成されている。各Lessonは、2ページ程度の4つのパートで構成されている。
光村	学習内容ごとに8つのUnitで構成されている。各Unitは見開き2ページの4つのパートの流れで学習する構成となっている。
啓林館	学習内容ごとに8つのUnitで構成されている。各Unitは2ページの4つのパートと振り返りで構成されている。
⑳ 体裁がよく、児童が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	判型はA4判が採用されている。デジタル教科書について、紙と同じレイアウトの画面上で英単語などを書き込む『コミュニケーションカード』や、会話の動画、音声などを視聴する『Listen and Think アニメ』などが設定されている。
開隆堂	判型はA4判が採用されている。デジタル教科書について、紙と同じレイアウトの画面上で答えなどを書き込む『Let's Listen 2』や会話の動画、音声などを視聴する『Let's Listen and Read』などが設定されている。
三省堂	判型はA4判が採用されている。デジタル教科書について、紙と同じレイアウトの画面上で英単語などを書き込む『Let's read & write』や、会話の動画、音声などを視聴する『Let's watch』などが設定されている。
教出	判型はA B判が採用されている。デジタル教科書について、紙と同じレイアウトの画面上で英単語などを書き込む『Final Activity』や、会話の動画、音声などを視聴する『Let's watch』などが設定されている。
光村	判型はA B判が採用されている。デジタル教科書について、紙と同じレイアウトの画面上で英単語などを書き込む『Let's write and read』や、会話の動画、音声などを視聴する『Let's watch』などが設定されている。
啓林館	判型はA4判が採用されている。デジタル教科書について、紙と同じレイアウトの画面上で英単語などを書き込む『Let's Read and Write』や、会話の動画、音声などを視聴する『Watch the Scene』などが設定されている。
㉑ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、児童が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『全ての児童の色覚特性に適應するようにデザインしています。』と表記されている。
開隆堂	『日本語には見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『カラーユニバーサルの視点から、色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの児童が見やすくなるように配慮しています。』と表記されている。
三省堂	『ユニバーサルデザインに配慮したフォントを使用している。』『この教科書は、カラーユニバーサルデザインに配慮して編集しています。』と表記されている。
教出	『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』と表記されている。
光村	『次の観点から専門家による校閲を行っています。カラーユニバーサルデザイン（後略）』『日本語の文には、見やすいユニバーサルデザイン書体を使用しています。』と表記されている。
啓林館	『見やすいユニバーサルフォントを採用しています。』『個人の特性にかかわらず、内容が伝わりやすい配色・デザインを用いました。（後略）』と表記されている。

【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する主な文章や写真・グラフ等の掲載

東書	My Picture Dictionary 5ページ 『kamaboko』 第5学年 78ページ 横浜中華街 第5学年 95ページ 横浜中華街
開隆堂	第5学年 105ページ 温泉 第6学年 59ページ かながわ海岸美化財団
三省堂	第5学年 92ページ 『Yokohama Chinatown (横浜中華街)』
教出	第5学年 68ページ 『Kamakura Daibutsu』 『Yokohama Chinatown』 第6学年 74ページ 横浜中華街
光村	第5学年 101ページ 『Chinatown』 第6学年 61ページ 神奈川県の小学校
啓林館	第6学年 26ページ 『Yokohama Bay Bridge』 鎌倉大仏

※ 二次元コードのリンク先にある、題材に関連した神奈川県に関する文章や写真・グラフ等は掲載していません

② 一冊ごとの重量 (g)

発行者名	総冊数	5年		5・6年	6年	
東書	3	267		129	267	
開隆堂	4	330	99		330	99
三省堂	3	301		113	302	
教出	2	321			324	
光村	2	357			330	
啓林館	2	383			381	